



政策研究大学院大学・建築研究所共催シンポジウム
「with コロナ時代の建築環境とは」



趣旨 : 今日、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染による想定外の大規模災害によって、人々が一日のほとんどを過ごす建築環境に対し大きな影響を与えています。感染を防ぐために避けるべき3密のうち、特に換気の悪い密閉空間に対し、厚労省の通知や、建築学会、空気調和・衛生工学会の談話が相次ぎ公表されました。しかし、具体的な新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染と換気の関係については、医学的な知見が未だ不明であり、今後の検討が待たれるところです。一方、建築環境において、すべての人々が生活を継続し続けるなかで、様々な変化が生じており、それらに関する知見も求められています。

そこで、本シンポジウムでは、上記の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策の現状、建築設備も含めた計画的な観点を中心に、建築内の衛生に掛かる根源的な部分からエネルギー消費の変化まで視野を広げ、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染を通じてどのように建築環境そのものを見直していったら良いか、分野の異なる学識者に講演していただき、今後の展望について討議します。

日時 : 2021年2月10日（水）13:30-17:00

会場 : オンライン開催（ZOOM ウェビナー：事前登録制）

主催 : 国立大学法人政策研究大学院大学、国立研究開発法人建築研究所

後援 : 国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人都市再生機構、独立行政法人住宅金融支援機構、建築研究開発コンソーシアム、一般社団法人日本建設業連合会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人空気調和・衛生工学会、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般財団法人日本建築センター、一般社団法人建築設備技術者協会、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構、一般社団法人日本建築構造技術者協会、一般財団法人ベターリビング、一般社団法人住宅生産団体連合会

プログラム

13:30 開 会

13:30-13:40 主催者挨拶

足永靖信（建築研究所 持続可能プログラム PD）

高橋正史（政策研究大学院大学 教授）

13:40-14:40 基調講演

(13:40-14:10) 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を踏まえた換気・通風計画の現状と今後の展開」
林 基哉（北海道大学 工学研究院教授）

(14:10-14:40) 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策としての空調・換気設備の現状と今後の展開」
柳 宇（工学院大学 建築学部建築学科 教授）

14:40-16:00 講 演

(14:40-15:00) 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）で見直された屋外と室内を繋ぐ“窓”の意味」
三木保弘（国土技術政策総合研究所 住宅研究部 建築環境研究室 室長）

(15:00-15:20) 「感染症と衛生設備：改めて“便所”を考える」
山海敏弘（国土技術政策総合研究所 シニアフェロー）

(15:20-15:40) 「今後の避難所に求められる環境とは」
山口秀樹（国土技術政策総合研究所 建築研究部 設備基準研究室 主任研究官）

(15:40-16:00) 「在宅勤務等の推進による住宅内での生活とエネルギー消費の変化」
上野貴広（建築研究所 環境研究グループ 研究員）

16:00-16:55 パネルディスカッション

司 会 : 澤地孝男 (建築研究所 理事)

パネラー : 林 基哉、柳 宇、三木保弘、山海敏弘、山口秀樹、上野貴広

16:55 情報提供 (予定)

根谷拓志 (建築研究所 企画調査課)

17:00 閉 会

参加費無料 (事前登録制)

本シンポジウムは ZOOM を用いたオンライン開催 (ウェビナー) です。
PC のほか、タブレット、スマートフォンにてご視聴いただけます (あらかじめ、ZOOM のアプリケーションのインストールをお願いします。)

ご視聴をご希望の方は、下記 URL から、氏名、所属等のご登録をお願いします (2月3日(水)まで)。登録内容を確認の上、視聴用の URL 等をご連絡いたします。

なお、定員 (500 名) を超える場合など、登録が受けられない場合がございます。あらかじめご了承ください。

登録用 URL : https://zoom.us/webinar/register/WN_AFYgCZBBTzmdomg17Ta5zA

お問い合わせ 政策研究大学院大学 担当 : 高橋、菊池
e-mail: zizoku@grips.ac.jp



※本シンポジウムは、下記 CPD 制度の共通認定プログラムです。

建築 CPD 情報提供制度、JIACPD 制度、建築士会 CPD 制度、建築設備士関係団体 CPD 制度、
APEC アーキテクト、APEC エンジニア、建築・設備施工管理 CPD 制度、JSCA 建築構造士更新
評価点対象

講演者プロフィール

■ 基調講演・パネリスト



林 基哉 (はやし もとや)

北海道大学 工学研究院 教授

専門分野：社会基盤（土木・建築・防災） / 建築環境、建築設備 / 建築・施設管理

1983年北海道大学工学部建築工学科卒業、1988年北海道大学大学院工学研究科建築工学専攻博士課程修了。1988年積水ハウス(株)入社、1999年宮城学院女子短期大学助教授、2000年宮城学院女子大学助教授、2002年同教授、2014年国立保健医療科学院 統括研究官を経て、2020年4月より現職。

住宅及び大規模建築物の室内環境（空気環境や温熱環境など）が居住者や利用者の健康に及ぼす影響と、その対策に関する研究、特に、シックハウス症候群、冬期のヒートショック、インフルエンザなどの感染症など、建築に関わる健康リスクへの対策や建築物衛生法の運営に活かすために、復興住宅や高齢者住宅・施設・省エネビルにおける室内衛生環境の研究を行っている。



柳 宇 (やなぎ う)

工学院大学 建築学部建築学科 教授

東京大学 生産技術研究所 フェローリサーチ

国立保健医療科学院 生活環境研究部 客員研究員

専門分野：建築環境工学，環境微生物学

学歴：国立公衆衛生院（現 国立保健医療科学院）研究課程修了
学位 Doctor of Public Health（National Institute of Public Health），博士（工学）（東京大学）

職歴：平成14年 国立保健医療科学院建築衛生部建築物衛生室長
平成22年 工学院大学建築学部建築学科教授

主著：オフィス内空気汚染対策（単著，技術書院），空気清浄便覧，空気調和衛生工学便覧（第14版），微生物辞典，Air Pollution and Pollutants，他

主な受賞歴：日本空気清浄協会賞論文賞（2005年，2019年），日本建築学会奨励賞（2005年），Indoor Air 2005 Best Poster Award（2005年），空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会会長賞（2009年，2011年，2016年，2018年），空気調和・衛生工学会功績賞（2013年，2019年），日本建築学会賞（論文，2016年），他

■講演・パネリスト



三木 保弘（みき やすひろ）

国土交通省 国土技術政策総合研究所
住宅研究部 建築環境研究室 室長

専門分野：建築環境・設備、室内計画

1993年千葉大学工学部建築学科卒業、1998年同大学院自然科学研究科博士後期課程修了、博士（工学）。国土交通省 国土技術政策総合研究所 主任研究官、独立行政法人建築研究所 主任研究員を経て2016年より現職。住宅の多灯分散照明の考え方を提唱、窓の役割・機能・性能に関する研究や、建築物の日射遮蔽と昼光利用に関する研究など、住宅・建築物の光環境を中心とした総合的な室内環境の質と省エネ性の両立に関する研究に取り組んでいる。



山海 敏弘（さんかい としひろ）

国土交通省 国土技術政策総合研究所 シニアフェロー

専門分野：建築物のレジリエンス、給排水・衛生設備、建築設備

1983年、行政官として旧建設省入省。官庁営繕（建築設備の設計、施工管理等）、住宅局（建築指導課で建築設備、省エネに関する技術基準を担当）を経て、1992年より旧建築研究所において、研究者として活動を開始。学術博士。以来、建築基準法令における建築設備の技術基準に関する研究、排水・生ごみ処理に関する研究、建築物のレジリエンス向上に関する研究（計画・設計技術、AI・IoT・ロボットの活用技術）等に取り組んでいる。建築研究所環境研究グループ長、国土技術政策総合研究所住宅研究部長を経て、令和2年4月より現職。



山口 秀樹（やまぐち ひでき）

国土交通省 国土技術政策総合研究所
建築研究部 設備基準研究室 主任研究官

専門分野：光・視環境評価、建築設備

2005年立命館大学大学院理工学研究科博士課程後期課程修了、博士（工学）。立命館大学情報理工学部 助教、独立行政法人建築研究所 研究員等を経て2015年より現職。建築空間の光・視環境に対する客観的および主観的評価方法の構築に取り組むとともに、近年は災害時における避難所の居住環境に関する調査・研究に従事。



上野 貴広（うえの たかひろ）

建築研究所

環境研究グループ研究員

専門分野：建築設備・都市環境工学

1992年山口県山陽小野田市生まれ。2015年九州大学工学部建築学科卒業、2020年九州大学大学院人間環境学府空間システム専攻博士後期課程修了。博士（工学）。2020年4月から現職。非住宅建築物における省エネルギー基準への適合性判定のためのエネルギー消費量計算プログラムの開発に携わっている。

■司会者



澤地 孝男（さわち たかお）

国立研究開発法人 建築研究所 理事

専門分野：建築環境工学、設備工学

1980年東京大学工学部建築学科卒業、1985年同大学院博士課程修了。工学博士。同年、豊橋技術科学大学助手、1990年独立行政法人 建築研究所 研究員、2008年同研究所 環境研究グループ長、2014年国土交通省 国土技術政策総合研究所 住宅研究部長、2017年より国立研究開発法人 建築研究所 理事。国土交通省社会資本整備審議会・建築環境部会 専門委員、国際エネルギー機関・「建築とコミュニティのエネルギー」プログラム議長。